

2023年度 看護部委員会活動

2023年度も看護の質の向上、業務改善、感染防止、安心・安全な医療の提供に向け、委員会活動に取り組みました。

委員会名	委員会活動
主任会	業務マニュアルの見直し修正を随時行いました。今年から導入したe-ラーニング、S-QUEを活用し倫理について知識を深めると共に院内勉強会を実施。自分を見つめ相手を尊重した関わりができるような働きかけを行いました。
教育委員会	院内研修プログラムに沿った研修の企画・運営、看護研究の開催を行いました。看護研究では看護の質を高めるために、今年も各部署一年間かけて取り組みました。今年度は外部の講師による指導を受け、より充実した看護研究になりました。又一年通し11回シリーズで循環器疾患について学習しました。
事故防止対策委員会	時事内容を基に年3回の標語作成、転倒転落をテーマにした環境ラウンド、タイムリーな記事を盛り込んだ事故防止新聞の年2回の発行を行いました。また院内研修では、KYTをテーマにコロナ明け数年ぶりのグループワークを開催するなど、リスク感性、更にレジリエンス力を高めることを目標に活動しました。
記録委員会	看護記録基準の見直し修正。e-ラーニングを視聴し記録方法の学習や看護診断の振り返りと看護記録の質的監査について院内研修を実施。記録の知識を高め共有に努めた。
リンクナース委員会	院内感染対策マニュアルに基づく感染対策の周知に向けて、環境ラウンドや直接観察法による感染対策遵守率調査をおこないました。また、WHO手指衛生ガイドラインに沿った感染対策についての勉強会も開催しました。
褥瘡委員会	褥瘡学会に参加し最新の知識の習得に努めた。褥瘡マニュアルの見直しを行い、発生させないための対策を行いました。褥瘡患者の病状ステージを調査し発生傾向を把握することで、早期よりリスク患者への介入に取り組みました。
看護助手会	看護助手業務マニュアルが完成。安全に看護助手業務が行えるよう直接業務の研修を開催した。看護助手業務について看護師と看護助手の意見交換の場を設け、タスクシフトへの取り組みを継続している。

院内委員会活動としてNST委員会、緩和ケア委員会、パス委員会にも質向上に向け積極的に活動しました。

また当院が得意とする呼吸器疾患や自己免疫疾患に関する知識を深め質の向上を図るため呼吸ケアワーキングチームやリウマチケアワーキングチームによる活動も行っています。今年度（2024年度）は更に多職種と連携し業務改善を行いより安心安全な医療・看護が提供できるように取り組んでいきます。